

# 東京片貝会報

発行所  
東京片貝会  
東京港区芝公園2-11-4  
電話(433)5925

## 昭和五十四年 新年会のご案内

寒さの折、お変わりございませんか。  
新しい年がすばらしい躍進の一年でありますよう、心からお祈り申します。  
意義ある年の始めにあたり、郷土の懐しい皆さんと一堂に集い、楽しく語りあいたいと存じます。毎度好評をいただいております福引きも、一層趣向をこらして、ご期待に添えますよう、企画中です。

会場は立派なホールです。舞台もよく整っていますので、踊りにも歌にも十分満足いただけるものと思えます。どうぞ多数のご出演を期待しています。皆様のお出でを心からお待ち申しております。

▽日時 一月十五日(月) 成人の日 午後二時(受付 一時半より)

▽会場 日本女子会館(港区芝公園二ノ六ノ八)  
国電 浜松町駅8分。都営地下鉄 大門、芝公園3分  
郵便貯金会館のまん前です。

▽会費 三〇〇〇円(弁当、飲み物、果物、福引き)  
同封の返信はがきを年内までにぜひお出しください。準備の都合もございいますのでよろしくお願い申します。

## 一会の動き

- ・第19回総会 7月2日  
芝増上寺で。詳しくは二面を。
- ・新潟県人会納涼の夕 8月6日  
八芳園で。会より相崎尚副会長、黒崎、神林監査が出席。
- ・浅原神社修復竣工式 9月9日

佐藤会長が代表して参列。三面の関係記事などを。第七回教育感謝祭 9月28日 会から安達名誉会長が出席された。

・東京小千谷会々長荻野氏叙勲 10月23日、日本閣で。  
佐藤会長が招待を受けて出席。  
・ヤング準備会 10月29日  
港区高輪福祉会館で。  
各年次よりヤング8名、会から松下、藤塚、諸我青年部役員と佐藤会長が出席。若い人達の気持、立場を知るのたへん役立った。(三面)

## 近づく20周年記念総会

### 54年6月を期して

先輩松井卯吉さん(四の町紺仁の人)が、都内を足を褥にして、郷土出身者を訪問して、片貝会の組織づくりをされたのが、昭和三十五年のことです。  
その後安達竜作氏が受け継いで今日の会を盛り立ててきて、五十四年はいよいよ二十周年を迎えようとしています。  
松井さんが三年、安達さんが十二年、私達が受け継いで五年とい

うことになりました。  
この記念すべき節目にあたり、ふさわしい行事を設定して、多くの皆さんにお出で願いたいと思っております。各年次の皆さんのご意見も、いろいろ承っております。この機会に実施し、片貝会をもう一度見直す機会にしたいものだと思います。考えている主な計画は次の通りです。

- 1、「ふるさと会館」の建設と母校の教育振興に役立つこと。
- 2、郷土を見直して、現状の分析、進路、などを母校の小中学生に記述してもらって、作文集を発行する。
- 3、昭和初期に作られた会旗が、損耗してしまつたので、再調整する。
- 4、しゅかり演奏の楽器太鼓など(総会、新年会用)を整える。
- 5、来る総会には郷土の同級生の方に、広く呼びかけて参加してもらう。

この計画について、皆さんのご意見をお聞かせください。  
しかし、何といつても経費を要することですので、あくまでも無理のない計画にしたい考えです。いすれ具体案をまとめてお願いしあげますので、その際はどうぞよろしくご意見をお願いします。



## 同級会だより

○ 昭生会  
十月二十五、六日 猿ヶ京温泉で。片貝より二五名、東京より一〇名計三十五名が参加した。翌日は有志で三國峠の燃えるような秋色を鑑賞した。  
○ 縁友会  
十月七、八日 湯沢温泉で。片

貝より三〇名、東京から二〇名、計五〇名が参加して、なかなかの盛会であった。  
○ 鳳友会  
七月、二日 湯沢温泉で。片貝より約六〇名、東京より二名計七〇名が参加。同会は来年が四十二才に当るので、その計画立案を兼ねて開かれたが、予想上まわる盛会であった。  
○ 同心会  
四月二日、上野の蓬莱閣で。同会は郷里よりも東京方面の会員数が多い、いつも東京が中心で運営されているという。五十五年は四十二才に当るので、今からその準備を進めている。片貝より一〇名東京より三〇名、計四〇名が参加

## ○ 十三鶴会

十一月二十、二十一日、湯沢温泉で。東京からは猪我さんが参加、約三十名が集った。片貝が中心になって、クラス会報を発行している。その熱意に敬意を表したい。  
ヤングの動き  
片貝会で調べた名簿が元で、同級会が開かれた。嬉しいことです。

## ○ にじ

今春、小金井で花見の会を催し二〇名参加。また上野で中華料理を開んで同級会を開いた。

## ○ 船出会

昨年忘年会を開いたが、十余名が参加した。また新年会を催したこともあるという。  
(写真は盛況の総会風景 二面)

明るく賑かに

# 盛りあがった懇親総会 (第19回)

芝増上寺大広間にて 七月二日



盛りあがる懇親会の渦

昨日の雨もやんで、明るい初夏の陽ざしが、時おり雲間から洩れよい日和となる。  
実は総会を六月上旬に開く予定だったのを、会場の都合でこの月になった次第。昨年の文京区の会場で、太鼓を打つと近隣からの苦情が出る、ということで、太鼓の使用を断られた。  
それを郷里からわざわざ運んできてもらった太鼓です。短時間でよいから、ぜひ認めて欲しい……と懇願して、漸く許可が出た。つまり、しやぎりの響きを聞かない

と、ふるさと人になった気がしない、何とかならぬか……そんな強い要望があつて、会場が急に変更になったのであつた。  
**総会**  
はじめ全員で、「ふるさと」兜追いかの山……を合唱し、続いて小、中学校の校歌を声高らかに歌う。指揮は中学校開校当時の音楽の先生、高橋百合子氏がとってくださった。  
続いて、会計報告(別掲)を承認していただき、最長老の高野三

郎さんの乾杯で懇親会にはいる。片貝を代表される方々、恩師や特別会員、県人会(別掲の通り)など、多くの来賓の出席をいたたいて、大へんな賑わいとなつた。  
**盛りあがる懇親の渦**  
懐かしい顔、変らぬ健康を語りあう人々で、会場はむんむんとむせかえるほど。まして、つぎつぎに出演される腕自慢の日本舞踊、美しいのを利かせた歌声に、いよいよ盛りあがるばかり。  
今回も郷里の物産展を開いたがみなどぶような売れゆきだつた。出席者全員に羊かんとおせんべいを添えたので、皆さんから大へんな好評をいただいた。  
会も甜つたとなつた頃、大ぎりの「しやぎり」の演奏が始まる。一同は故郷のあの懐かしい祭りの興奮を思いおこして、なんとも言いようのない感動にひたつたのであつた。  
いつ果てるでもない交歓も、五時すぎになつて、万歳三唱ともなひ、今年の懇親会も幕となつた。  
**次の総会を目ざして**  
前に述べたような事情で、総会が七月に延びてしまつたが、来年はぜひ六月上旬開催を期してしま

す。内容も二十周年にふさわしい盛大なものにしたいと、今から各年次の方々の声を吸いあげたりして、計画立案中です。  
皆様の変わらぬご支援とご協力を切望いたします。  
**当日の来会者**  
(二三五名)  
(敬称略)  
**来賓**  
助役 柄沢栄夫、市議 本田善治  
恩師 箕輪みね、本田寅一郎、高橋百合子  
中学校長 藤田英雄  
農協組合長 本田初太郎、特別会員 太刀川太郎、東京小千谷会、東京新潟県人会  
**会員**  
・明治  
高野三郎、丸山フジ  
・大正25~30年  
丸山貴司、吉原周司、太刀川藤吉、山崎キイ、品田軍治、若井やう、相崎政弘、高桑キイ、佐藤正雄、南雲吉松、広井三代次、吉原やう  
・大正31~35年  
浅田兼次、安達道宗、渡辺左武郎、大矢福次、相崎勇次、小野塚イン、清水六郎、神林徳次、小林倉三郎、佐藤量八、安達宗吉、三重垣繁能、沢敬次、大塚タケ、安達徳太郎、神林マス、高橋清雄、安部盛治  
・昭和25~30年  
相崎勇次、小林敬司、早川松太郎、山口ヨシ、小宮孝作、日下部政子、小川茂雄、山田雅子、浅田喜八郎、松井重治、吉井武二、石黒佐忠、安達吉次、丸山 春、藤塚栄三郎、芝 五郎、丸山 春、小林政次、安達吉次、丸山 春、相崎善次郎、芋川とし、浅田鉄二、相崎善次郎、佐藤又次、大内登世、安達幸一、馬場きい、小宮竹次、黒崎孝造、



**建築建具一式**  
芝 五 郎 (昭和3年卒)  
品川区北品川1-9-5  
(03-471-4866)

**中村洋服店**  
中 村 ヒ サ (大正15年卒)  
江戸川区上篠崎町2-290  
(03-670-1739)

**文昇堂**  
印刷一般  
高 桑 キ イ (大正8年卒)  
港区三田5-20-10  
(03-441-0812)

# 見違えるほど立派になった 浅原神社の修復工事

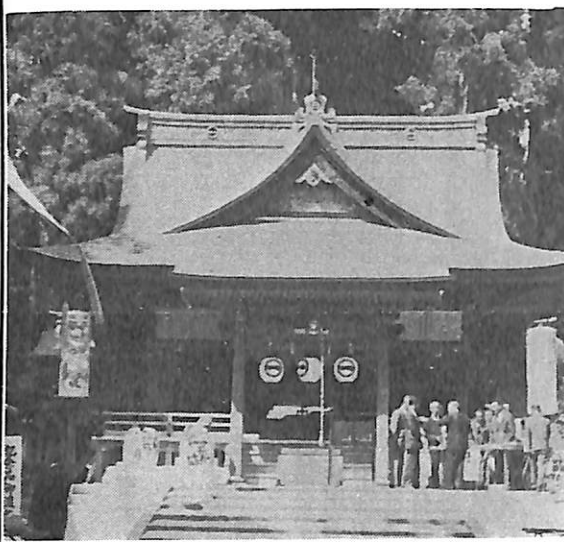
## 式は九月九日十時より

念願の神社修復がめでたく完成した。はじめは本殿中心の計画であったが、皆さんの予想を上まわる熱意で、石段の拡張、神楽殿、お水屋まで新設され、目を見張るような立派なお宮になった。

ふきかえられた本殿の銅張り屋根がきらきらと光っている。

竣工式は十時から、厳かに執行されたが、無事終了後、参列者一同で、お神酒の大きな樽の鏡を抜いて、これまでの数々の労苦と、きよの喜びを噛みしめていた。

やがて神楽殿のこけらおとしの舞いが奉納された。まず、神主に由る太々神楽があり、そのあと東京片貝会の佐藤正雄さん(大8卒)が「男の舞い扇」を鮮かに舞って



くださった。みなその妙技に見られるほどであった。

当日は町の代表的な人々々は勿論、工事関係者、皇野市長、一般市民、東京片貝会の方など多数の出席者があった。また会を代表して、佐藤会長も玉々しを捧げた。

この後、一同は会場を小学校の体育館に移して、祝賀会を開催した。

工事関係者や功労者を表彰の後、祝賀会となる。余興には、町裏小若による、すばらしいしゃぎりの演奏、東京片貝会の佐藤正雄、児島良子さん(緑友会)の日本舞踊の名演技、佐藤おけささんが盛りたくさんに披露されて、たいへんな盛会であった。

## ヤングの集い

—準備会—

### 十月二十九日

港区高輪福祉会館へ各年次の方々にお集りいただいた。今後のヤングの集いに対する希望、現状などを卒直に話しあってもらった。

東京へ出てきている人達は、みなはっきりした目標があり、それを達成するために、日夜多忙な日々を過ごしている。休日も職や立場により日曜日とは限らない。その中を割いて集いに参加するためには、集いが魅力あるものでなければ……。また同級生が互いに呼びかけあうことも大切であろう。

また社会的に安定途上にある立場とあるので、単に親睦ということだけでなく、もっと積極的な意義ある集いになればならないと思っています。

今回の開催日は来春の予定です。その際はぜひ多くの方々のご出席を念じています。

## しゃぎりの響き・轟く花火

### 神社竣工祝いの秋祭り

少し汗はむくらしいの暖かい日和だった。

沿道を埋める賑やかな出店の列に祭り気分は町に溢れていた。大筒送りの車と氏子の列が町を練り歩く。これは秋祭り開幕のゴージャスである。

七時頃から雨が降り出してきた。それでも花火は間断なく天を轟かしている。私は神楽殿の裏で行われているしゃぎりコンクールを

案内範囲は、中学校21回卒より28回までの方々の予定。当日の出席者に、

- にじ黒崎 守夫
- つぐみ 松井周之輔
- つくし 山田むつみ
- 銀 会 安達 祐子
- 船出会 松井 正之
- ふたは会 新野明夫、吉原紀美子、吉原由美子
- 会より、松下青年部長、藤塚、諸我副部長、佐藤会長



## こんにちは

(会員訪問)

### 丸山文男さん

板橋で天ぷら屋を経営。開店当時は苦勞の連続だったが、今は他天ぷら、喫茶店を五店も持ち、順調そのもの。

同級会のみんどうもよいようだ。ゴルフの腕は相当なものらしく、店員には郷里からも何人か勤めている。一男一女の父、よいお子さんにも恵まれ、今後の発展がいつそう期待されている。

## おめでとー

### ございませす

藤塚太郎さん(大8卒) この春、長年にわたる農林行政に尽された功により、勲五等に叙勲された。

帝大農学部卒業で、この町の相模屋さんの方である。

### 吉原菊枝さん(昭9卒)

ご主人吉原一雄氏は、建設業界(管工事)に長い間の功勞が認められて、黄綬褒賞を受けられた。お父様も片貝の方で、奥様は四の町金盛屋さんの出身である。

お一人ともご夫婦で宮中に参内して、榮譽を受けられた。

も強い雨となった。九時と十時に揚げられた三尺玉、発も、雨の中でぞしく開くという次第となり、みんなを歎かせた。

なお、この花火の様子は、十月六日付朝日クラブに、8頁にわたってカラーで紹介されたから、ご覧になった方も多数おられることと思う。(佐藤記)

## 建築設計事務所

一級建築士 西山信男 (与板町生れ)

西山和子 (昭和19年卒)

港区新橋 6-13-4  
(03-431-3808)

## 塗装全般

浅田 猛 (昭和18年卒)

渋谷区代々木 4-20-4  
(03-370-4518)

## 藤塚精密螺子製作所

藤塚 敬次 (昭和11年卒)

目黒区東山 1-17-3  
(03-713-3965)

片貝町末広町にも工場があります

ふるさとより

魅力ある町づくりが進んでいます

ふるさと会館ができる

仲便山かの森塚に登り、更に中平(なかひら)一帯を自然公園として設定し、中学の新設グラウンドを中心にスポーツ広場ができる。更にキャンプ場も作られ、これを囲むようにして三キロ余の遊歩道を設ける。

更にこの大分県費による「ふるさと会館」(鉄筋一階建)が、昭和五十四年度に建てられることになった。股道場所は、浅原神社の近くか、又は他に適当な場所があれば……というところで、検討中である。

水道工事のこと

夏の来ないうちに、晩秋の町の道路は、水道のための工事が方々で進められていた。中学校体育館工事 先年りっぱにできた体育館の拡張工事がいよいよ進められている。完成すると、バスケットホールが二面とれる広さとなる。こんな広い体育館は、近隣にも稀れであるといふ。 花火のさじき 毎年秋祭りに作られる一時的なさじきが、こんど永久的なコンクリート造りになるといふ。いま計画中とのことである。 あれやこれや、日を追って町が整頓されていくのは、まことに嬉しいことである。

東京片貝会会計報告 (自昭和52.4.1 至昭和53.3.31)

|           |             |      |             |
|-----------|-------------|------|-------------|
| 収入        | ¥ 1,820,051 | 支出   | ¥ 1,820,051 |
| 前年度繰越高    | 425,760     | 会費   | 655,720     |
| 年会費等      | 338,300     | 劇場信  | 35,100      |
| 総会費用      | 588,700     | 印刷通信 | 17,100      |
| 懇親会費(181) | (452,500)   | 印刷通信 | 97,150      |
| 寄付祝儀(25)  | (136,200)   | 印刷通信 | 499,280     |
| 若人を励ます会   | 49,000      | 印刷通信 | 7,090       |
| 会費(21)    | (32,000)    | 印刷通信 | 99,295      |
| 会祝儀(5)    | (17,000)    | 印刷通信 | 9,100       |
| 新年会       | 372,000     | 印刷通信 | 18,000      |
| 会費(116)   | (348,000)   | 印刷通信 | 1,200       |
| 会祝儀(7)    | (24,000)    | 印刷通信 | 70,995      |
| 寄付金(4)    | 40,000      | 印刷通信 | 346,360     |
| 銀行利息      | 6,291       | 印刷通信 | 6,940       |
|           |             | 印刷通信 | 39,200      |
|           |             | 印刷通信 | 295,160     |
|           |             | 印刷通信 | 5,060       |
|           |             | 印刷通信 | 59,850      |
|           |             | 印刷通信 | 21,000      |
|           |             | 印刷通信 | (11)76,206  |
|           |             | 印刷通信 | 66,060      |
|           |             | 印刷通信 | 18,470      |
|           |             | 印刷通信 | 13,944      |
|           |             | 印刷通信 | 463,146     |

昭和53年7月2日  
上記のとおり報告いたします。  
上記は適正且つ正確であることを認めます。

会計部 安達道宗 大矢福次  
会計監査 小林敬司 黒崎孝造  
神林徳次

ご芳志深謝

総会当日ご出席くださいました十名の来賓(二面)の方々より、又ご欠席の来賓、島藤徹郎氏、小學校校長桐原先生、郷土中研究会長長原芳郎氏、同級会役員友田明石氏より、いずれも過分なご芳志を賜りました。 尚會員丸山尚司、若井やう、広

たより・たより・たより

浅原神社の修復については、多数の方々より特段のご協力を頂き、ありがとうございます。皆々様にお礼申し上げます。 (格闘委員会会長 新野 武)

総会にお招きいただき、自分のおまじにあつかり、厚くお礼申し上げます。体育館の増築やらグラウンド拡張のことやら、忙しい一学期になりました。 (中学校長 藤田英雄)

総会の際の写真をお送りいただき本言に有難うございました。いい記念になります。実物以上に撮っていただき嬉しく存じます。 (大正6年卒 山崎キキ)

落葉を掃く季節となりました。役員会には出席できず、すみませんでした。代理をお願いしようと思いましたが、同級生に連絡したり、お見舞いにくる事になったり致しました。遅中ですので、年賀のあいさつ、失礼いたします。 (昭18年卒 丹治きみ)

井三代次、藤藤榮三郎、石黒佐徳、大相崎善次郎の六氏からもお祝いをいただきました。 また当日物産展に参加くださった小宮製菓からも頂戴いたしました。記して、ここにお礼に代えさせていただきます。 本年度の会費を送金の際、左の方々より、ご寄付をいただきました。お礼申し上げます。

八月末に名古屋に越してきました。話には聞いていましたが、本言に聞いてびっくりです。冬は寒いそうです。 会費をいつも楽しみに拝見しておりましたけど、こちらへ移りましても、今まで通りお送りいただきましたら幸に存じます。会費は会費としてお払いいたしますので。 (昭26年卒 安達真穂子)

総会の写真、どうもありがとうございます。僕はずいぶんお世話になりました。僕はずいぶんお世話になりました。僕はずいぶんお世話になりました。 (昭32年卒 浅田達夫)

総会欠席通知の方より、山内敬一先生、米田に長期出張中です。吉井秀五郎氏(大13年卒)、沖繩の網医学会総会に出席

- 安達竜作、安達忠次、大塚たい子、鶴田国茂、永井正雄、長谷川セイ、石上健次、菅野リヤ、高野朝五郎、吉井六郎、須藤文字、若林きい子、野上フミ、岡崎 勇、三直堀新一、佐藤彦一、高橋忠夫、内田キミ、藤塚敏次、石沢隆雄、石原三代治、浅田栄三、荒木トシ、奥瀬洋子、関 弘、田口 操、稲川孝子、小宮三郎(敬称略)

- ・小川植四郎氏(昭18年卒) 北海道大学に出版のため
- ・本田幸義氏(昭31年卒) パキスタンへ出張のため
- ・ヤングの方より
- ・相崎俊夫君(昭40年卒) 福岡に転勤、片貝会のことには決して忘れません。
- ・佐藤 昭君(昭43年卒) 鉄筋建築の監修をされています。
- ・佐藤百合子さん(昭45年卒) 南浦米村の先生になりました。

お知らせ(物故者) 名簿発行以来、左記の訃報に接しました。離んでご冥福をお祈り申します。洩れた方がありましたらぜひお知らせ下さい。敬称略 安達ナカ一明37 吉井友作一明39 安達シマ一45 安達一郎一48 小宮寅松一42 安達菊次一43 福井カツ一13 佐藤竹十昭2 山口国次一昭14 浅田タミ一24 吉原嘉一郎昭13

あとがき 歳除の慌しい毎日をお元気に過ごしてのこと存じます。新年会のご出席をお待ちしています。どうぞよいお年を。